



Sailing Ahead

2025 年 5 月号

親愛なる PIANC の会員の皆様

感動的な 2025 年の総会が韓国・釜山で 5 月に開催されました。年次総会(AGA)前に執行委員会 (ExCom)、評議会(Council)、各国の事務局長のミーティングを実施し、協会にとっての素晴らしい成果が得られました。本号では、その内容を掲載しています。

PIANC 韓国の温かいおもてなしと、その素晴らしい会議運営体制をお伝えしたいと思います。一連の会議を各専門分野の領域を超える驚くべき体験へと変え、心に深く刻まれるものとしてくれました。親愛なる韓国の同僚へ：全ての PIANC 組織を代表して、お礼を申し上げます！

総会と並行して若手技術者 (YP) の隔年の技術ビジットも実施され、大成功を収めました。同じ開催地にいることにより、私達も YP と交流し、共に素晴らしい時を過ごすことができました。PIANC 若手技術者委員会 (YP-Com) の委員長として 2 年間を勤め上げたセバスチャン氏 (Sebastian) に感謝いたします！

本号ではさらに多数の記事が掲載されています。このことは PIANC の運営、活動が決して停止しないという証です。幾つかをご紹介しますと、新設 WG のキックオフ会合、プラチナ・メンバーや各国部会・支部からのニュース、2028 年 PIANC 国際航路会議 (Congress) のビデオ、インド・チェンナイで次回開催の PIANC COPEDEC 会議のお知らせなどです。

OECD の国際交通フォーラムサミット (OECD International Transport Forum Summit) への PIANC 参加は意義深いものでした。特にサイドイベント「我々の相互信頼・結びつき：パートナーシップ構築と交通システムの強靱化」と題するサイドイベントの参加が挙げられます。本イベントは、包括的な取り組みによる交通システムの強靱化に対処する初めてのジョイント・タスクフォースでした。PIANC, PIARC (道路), UIC (鉄道), UTPP (公共交通), UNECE (国連欧州経済委員会) が参加しました。

今月号の 'Sailing Ahead' もお楽しみいただけると確信しています。

フランシスコ・エステバン・レフラー (Francisco Esteban Lefler)
PIANC 会長

PIANC デ・パエペー・ウィレムス賞(DE PAEPE - WILLEMS AWARD) 2026 論文募集中

本年の申し込みの時期が再到来！ 40 歳以下の若手技術者(YP)ですか？

とりあえず、[PIANC デ・パエペー・ウィレムス賞\(DE PAEPE - WILLEMS AWARD\) 2026](#) に申し込み、
€ 4,000, € 2,000 又は € 1,000 を獲得しましょう！

なぜ参加するのか？！ こちらをお読み下さい [受賞者の声！](#)

アブストラクトの提出締め切り：2025 年 8 月 31 日
フルペーパー提出は遅くとも 2025 年 9 月 30 日です

このお知らせを周りの若手技術者 (YP) にも伝えてください！

[詳細な情報と応募登録 \(Web\) はこちら！](#)

2025 年 PIANC 年次総会(AGA 2025)韓国・釜山のニュース

執行委員会(ExCom)、評議会(Council)及び年次総会(AGA)ニュース

PIANC 韓国部会の友人、同僚から非常に暖かい歓迎を受けました！ 我々PIANC 代表団の出席に対し、全ての会議において完璧な組織的な運営と、会議後の全てのネットワーキング・イベントでの美味しい韓国料理と素晴らしい文化的パフォーマンスで楽しませてくれました！ この数日間を最高のものにしていただいた韓国の代表団に対し、多大なる感謝を申し上げます！



AGA ウェルカムレセプション・グループ写真(拡大は画像をクリック)

各々の会議では、執行委員会、評議会、年次総会の参加者は、行動計画のフォローアップ、PIANC の現行 WG の最新情報、PIANC の財務、PIANC の今後の国際イベント、PIANC の規定の改正などの通例の議題を審議しました。

さらに第 92 回評議会と各国部会の事務局長会議 (Secretaries Meeting) では、以下の議案を承認しました。

- スコット・キーン氏(オーストラリア)(Mr. [Scott Keane](#))の PIANC 本部・新副会長就任
- イアン・ドブソン氏(英国)(Mr. [Ian Dobson](#))の PIANC レクリエーション委員会(RecCom)委員長就任 (イーストバン・ビオンディ氏(Mr. [Esteban Biondi](#))の後任)
- ラファエル・タバレス氏(ブラジル)(Mr. [Rafael Tavares](#))の PIANC 若手技術者委員会(YP-

Com)の共同委員長就任 (ヒョン・ドン・キム氏(Mr. [Hyun Dong Kim](#))の後任, 同氏はセバスチャン・イグレスias氏(Mr. Sebastian Iglesias)の後任として YP-Com 委員長就任)

•PIANC 国際協力委員会(CoCom)共同委員長の2期目として, アッバス・サルマド氏(Mr. [Abbas Sarmad](#))とモハンマドレザ・アラヤール氏(Mr. [Mohammadreza Allahyar](#))の再任が評議会にて承認されました。

各国部会の事務局長がこれまでの各部会の活動報告の概要を発表しました。総会の期間中, PIANC 会長, 事務総長, 各委員会(Com)委員長からも各々の活動報告がなされました。総会では2人の名誉会員の就任を承認しました。

•川嶋康宏氏(Mr. Yasuhiro Kawashima)の本部名誉副会長の就任(PIANC 英国部会の推薦)

•カン・ポング氏(Mr. [Bumgou Kang](#))の本部名誉副会長の就任(PIANC オーストラリア・ニュージーランド部会, PIANC 日本部会)の推薦

デ・パエペ・ウィレムス賞(De Paepe-Willems Award(DPWA))審査員長の Mr. Bumgou Kang 副会長から今年の3人の受賞者の発表がありました。

1 位. Mr. Alberto Fernandez (IHCantabria - Spain): 欧州港湾システムにおける気候変動適応戦略のリスクベース評価 'Risk-Based Assessment of Climate Change Adaptation Strategies for the European Port System'

2 位. Mr. [Axel Hörteborn](#) (Research Institute of Sweden - Sweden): 米国における船舶と橋梁衝突事故の発生確率 'Probability for Ship-Bridge Allisions in the USA'

3 位. Mr. Jonathan Woodham (HR Wallingford - UK): 数値波浪モデルと完全な動的浅水域の船舶係留モデルの最適化利用による複雑な運用問題の解決 'Optimising the Use of Numerical Wave Models and Fully Dynamic Shallow Water Ship Mooring Models to Solve Complex Operational Issues'

さらに総会の期間中, PIANC は国連アジア太平洋経済社会委員会 ([ESCAP](#)) と合意協定メモランダムを調印しました。

最後に執行委員会, 評議会, 総会で PIANC 韓国部会の草案による PIANC 決議 2025([PIANC Resolution 2025](#))が採択されました。

PIANC 各委員会(Com)からのニュース

PIANC 若手技術者委員会(YP-Com)からのニュース

PIANC 若手技術者委員会(YP-Com)の最新内部情報

韓国・釜山での隔年技術ビジット期間中のハイブリッド代表者会議とワークショップ

釜山での隔年技術ビジットの一環として、ハイブリッド代表者会議とワークショップが開催され、YP-Com の組織と役割や、より重要な点として、YP の PIANC WG 参加を奨励することに力点を置いて開催されました。 [詳細はこちらをお読み下さい・・・](#)

YP-Com リーダーシップの交替・移行

任期には必ず終わりがあります。本年の年次総会と隔年技術ビジットの終了をもって YP-Com 委員長セバスチャン・イグレシアス氏([Sebastian Iglesias](#))の任期終了となりました。4 年間にわたり、献身とビジョンをもって務めてきたセバスチャン氏は 2023 年から共同委員長であったヒュン・ドン・キム氏([Hyun Dong Kim](#))にバトンタッチしました。ヒュン氏は、今回、釜山での執行委員会で正式に新共同委員長として任命されたラファエル・タバレス氏([Rafael Tavares](#))の協力のもと、2 年間委員会を率いていきます。

YP-Com 全体と全ての YP を代表して、セバスチャン氏のコミットメントとリーダーシップに心から感謝します。また、ヒュン氏とラファエル氏が新たな役割の下、成功と喜びを手にすることを願っています。YP-Com の未来を形成するための皆さまの骨身を惜しまぬ尽力に感謝します！



現在募集中の空きポジション及び今後の募集予定（欠員見込み）

アメリカ地域の新たな副委員長(代理)に加えて、2 つの空きポジションをお知らせします。

- 代表者会議で論議したとおり、YP-Com は、PIANC の専門家グループが進めている作業と YP とのつながりを強化するため、各技術委員会(Com)に 1 人ずつオブザーバーを指名しています。これらオブザーバーは、YP の WG 参加を促すことと、技術的議論の過程で YP による適切なリードを確保するという重要な役割を担っています。現在は、内陸水路委員会(InCom)の新しいオブザーバーを募集しています。この空きポジションは、ジャンセン・ジャオ氏([Gensheng Zhao](#))が新たな InCom 副委員長に指名され、オブザーバーの役をおりたためです。
- 上記に加え、YP-Com 事務局長のアンヤ・ブルーニング氏([Anja Brüning](#))の任期が 2026 年 5 月で終了します。円滑な交替と適切な引継ぎを確実にするために、意欲ある後任を捜しています。この役割に関心があり、その責務と関係する業務内容を知りたい方は、お気軽に直接アンヤ氏([Anja](#))に見通しや助言を求めてご連絡下さい。

PIANC の未来への貢献と YP の声を代表する役割に情熱をお持ちの方は、今が参画する絶好のチャンスです！

過去の PIANC YP イベント - 振り返り

韓国・釜山での PIANC YP 隔年技術ビジット(BTV) 要約



2025 年 5 月 14 日から 16 日まで、PIANC 若手技術者による 2 年毎の技術ビジット(BTV)が韓国・釜山で開催されました。18 カ国から 50 名の参加者が集まり、水上輸送インフラ分野の若手技術者間の国際交流を促進する貴重な機会となりました。

[詳細はこちらをご覧ください・・・](#)

2025 年 今後の YP（若手技術者）イベント –プレビュー／お知らせ

今後の YP ウェビナー：「ラテンアメリカをまたぐ若手港湾エンジニアの連携」

アルゼンチン、ブラジル、チリ、ウルグアイの PIANC 若手技術者達が、地域ウェビナー「港湾工学における若手技術者：ラテンアメリカを結ぶ」にご招待します。

2025 年 6 月 18 日（水）午前 11 時（UTC-3） / 午前 10 時（UTC-4）開催です。

この 2 時間のオンラインイベントは、地域内をまたぐ振興の若手技術者の取り組みと展望が紹介されます。プレゼンテーションでは、ターミナル運営における新技術の導入、船舶航行による浸食の影響、港湾物流とデジタル化におけるイノベーション、港湾アクセス改善のためのインフラ整備など多様でタイムリーなテーマを取り上げます。



ウェビナーは事前登録制、無料でご参加いただけます。

[Argentina de Ingeniería Portuaria: Beiträge | LinkedIn](#)

詳細については右記にお問い合わせください piancypargentina@gmail.com

第 21 回若手技術者会議 - ATPyC (PIANC スペイン部会) セウタへ出航！

6 月 19 日から 20 日、セウタ港（Port of Ceuta）セウタ市議会議事堂にて、ATPyC 若手技術者委員会が主催する ATPyC 第 21 回若手技術者会議を開催します。

海事・港湾分野の現在と未来をテーマとする刺激的なプレゼンテーションに加え、参加者は港湾インフラと運営活動を視察する技術見学会に参加できます。参加登録は現在受付中、締切は 6 月 6 日です！

登録は atpyc@puertos.es へのメール または Web サイト <https://atpyc.com/> からお願いします。

Anja Brüning
Secretary of YP-Com

海港委員会(MarCom)からのニュース

PIANC 海港委員会(MarCom), 韓国・釜山にて開催

PIANC 海港委員会(MarCom)は, 韓国・釜山の BPEX コンベンションセンターにて, 8 名の委員が現地・対面参加し, 残りの委員がリモート参加する形式で, 非常に生産的な会議を開催しました。



PIANC 海港委員会(MarCom)WG 250 第 2 回対面会議が韓国・釜山（年次総会及び YP 隔年技術ビジット週間）にて開催

「コンクリート防波堤（直立堤, 傾斜堤, 混成堤）(WG 28 レポートの更新)
(Update of WG 28 – Breakwaters with Vertical and Inclined Concrete Walls)」

PIANC WG 250 は, 5 月 13 日から 15 日にかけて韓国・釜山で開催された PIANC 年次総会 2025 等週間において, 第 2 回の対面式会議を成功裡に開催しました。今回の WG 会議の目的は, 3 日間の生産的な議論を基に, 報告書の一部をドラフトし, レビューすることでした。現地・対面で参加した 8 名のメンバーは, 欧州とアジア両地域を代表して, より多様で広範な技術的視点を提供しました。さらに 6 名のメンバーがオンラインセッションを通じて一部参加し, 議論に貢献, 追加のフィードバックを提供しました。

本 WG 会議中, 参加メンバーは YP 隔年技術ビジット(BTV)の釜山港技術ツアー（船上）および AGA 技術ツアーによる完全自動化ターミナル視察（Dongwon Global Terminal）にも参加する機会を得ました。両ツアー日とも, AGA と BTV の参加者との楽しい夕食会で締めくくられました。

メンバーは, WG レポートの進展に満足しつつ, つながりと友情を築く良い時間を過ごしました。PIANC 韓国部会と PIANC AGA & BTV 2025 組織委員会に対して, WG 250 のための温かいおもてなしと会場の手配に, 心より感謝申し上げます。私たちは, 熱意を持って WG 作業を継続し, 今後の会議で刺激的な議論と課題に取り組むことを楽しみにしています。



Koen Van Doorslaer
Chair of WG 250

PIANC 海港委員会(MarCom)WG 225 会議がカリフォルニア州オークランドにて開催 「港湾施設の耐震設計 (Seismic Design Guidelines for Port Structures)」

PIANC MarCom WG 225 は、2025 年 4 月 22 日から 24 日まで、カリフォルニア州オークランド Merritt 湖畔の SGH オフィスにて、対面形式の会議を開催しました。本会議は、2023 年 9 月 4 日から 5 日のブリュッセル開催（第 1 回）、2024 年 4 月 2 日から 3 日の東京開催（第 2 回）、2024 年 10 月 8 日から 10 日のロンドン開催（第 3 回）に続く、対面形式としては 4 回目の会議になります。米国、イギリス、ベルギー、オランダ、イタリア、日本の 11 名の委員が参加しました（写真参照）。

WG 225 の目的は、WG 34（2001 年）が作成した「PIANC 港湾構造物の耐震設計ガイドライン」の改訂です。WG 内には 3 つの小グループが設置されています。小グループ A は [Helge Frandsen](#) 氏がリーダーを務め、設計理念、性能目標、損傷基準を担当します。



小グループ B は [Helge Frandsen](#) 氏をリーダーとして、耐震解析を担当しています。

サブグループ C は [Carlos Ospina](#) 氏と Jhon Paul Smith 氏が共同リーダーを務め、グッドプラクティスとその詳細を担当します。これらのサブグループは活発に活動しており、ロンドンとオークランドの対面会議の間の 6 ヶ月間で 7 回のオンライン・サブグループ会議が開催されました。

今回のオークランド会議の初日は、用語、設計理念、性能目標に関する議論に充てられました。2 日目は STS クレーンと地盤工学に関する議論に充てられました。

WG は Liftech 社の STS クレーン設計の専門家を招き、Liftech 社と SGH オフィスの近接性を活用しました。3 日目はグッドプラクティス、詳細設計、設計基準に関する議論に充てられました。今後のスケジュールについても議論しました。

現在、私のみとところ初期原稿の 90%が完成しています。ただし、内部レビューが必要です。また、異なる章の間の一貫性を確認する必要があります。WG 225 レポートが早期に完成し、世界中の港湾構造物の安全性に貢献することを期待しています。

野津 厚
WG 225 議長

内陸水路委員会(InCom)からのニュース

PIANC 内陸水路委員会(InCom) WG 262「遠隔操作による内陸水路の航行(Remote Operated IW Navigation)」キックオフ会議



PIANC WG 262「遠隔操作による内陸水路の航行」のキックオフ会議が2025年4月29日にブリュッセル港湾オフィスにて成功裡に開催されました。WG委員は、政府機関や河川管理機関から民間企業まで、多様な分野の利害関係者を代表しています。多くの委員にとり、今回がPIANC WGへの初参加であることも、本WG 262の価値を示しています。

午前中は、内陸航路委員会(InCom)委員長であるフィリップ・リゴ氏([Philippe Rigo](#))による開会挨拶があり、InCom WGを成功させ完了するためのガイドラインを共有しました。その後、全ての委員が自己紹介を行い、スマート・ SHIPPINGへの関心を表明しました。各委員の多様な視点と背景が明らかになり、興味深い議論が交わされました。午後は、WGの対象範囲、活動内容、成果レポートに関する「作成業務の範囲」と「目次」に焦点を当て、共通の理解を深めました

Sim Turf
Chairman WG 262

PIANC 内陸水路委員会(InCom) WG 264「内陸水路の水工構造物の管理運営のための革新的なデジタル化アプローチ(Innovative Digitalisation Approaches for Managing Hydraulic Structures of Inland Waterways)」キックオフ会議

5月27日、「内陸水路構造物の管理運営のための革新的なデジタル化アプローチ」WGがブリュッセルのPIANCの本部所在地の印象的なビルでキックオフ会議を開催しました。参加者は合計14名(現地・対面参加9名とオンライン参加5名)で、ドイツ、オランダ、ベルギー、イタリア、米国、マレーシア、中国、ブラジルなど多様な国々の代表から構成されています。





簡単な参加者の一巡の紹介と、フィリップ・リゴ氏（[Philippe Rigo](#)）による PIANC WG の実施に係る概要説明に続き、WG は自らの動機と目的についての議論を深めました。また、新たに設立されているデジタル・ツインの WG とのオーバーラップについても検討し、両 WG 間の情報交換の必要性が強調されました。具体的には、次のステップとして、各委員からデジタル化のアプローチを収集することが挙げられ、これが WG レポートの構成の基礎になる予定です。さらに、今後の WG 会議の計画が概説されました。

Daniela Schenk
Chair WG 264

以下の PIANC の今後のイベントにご参加ください！

2025 年 10 月
29 日－30 日

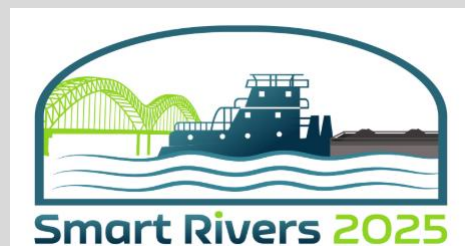
PIANC 地中海ディズ、
モロッコ・タンジール
(PIANC MEDITERRANEAN
DAYS 2025 Tangier, Morocco)



本イベントの Web サイト！

2025 年 9 月
8 日－12 日

PIANC スマート・リバー
2025, 米国・メンフィス
(PIANC-SMART RIVERS 2025,
Memphis, Tennessee)



本イベントの Web サイト！

2027 年 2 月
22 日 - 26 日

第 II 回 COPEDEC 2027
インド・チェンナイ
(PIANC-COPEDEC XI
2027, Chennai, India)

2028 年 6 月
17 日 - 23 日

国際航路会議 2028
ベルギー・アントワープ
(PIANC World Congress
2028, Antwerp, Belgium)



第 I 回お知らせ(リーフレット)は
[こちら](#)



[本イベントの Web サイト!](#)

[本イベントのプロモーションビデオをチェック!](#)

PIANC コミュニティからのニュース

PIANC UK からのニュース

PIANC UK サイドイベント - Poole Harbour - 2025 年 6 月 12 日

PIANC UK は、2025 年 6 月 12 日 (木) 午後にイベントを開催、主要な海事関係企業の話
題提供者による「新規の係留施設の建設や Poole Harbour の管理・運営」など最近の地
域のプロジェクトについて議論を行います。本イベントでは、Poole 地域、Dorset 地域
における最新の海事イノベーションとプロジェクトを紹介します。

話題提供者

- Jeremy Littlejohn 氏 (senior estimator, Boskalis)
- Nick Gibb 氏 (senior design manager, Knights Brown)
- Phil Armstrong 氏 (harbour engineer, Poole Harbour Commissioners)
- Joe Parsons 氏 (principal environmental consultant, Royal Haskoning DHV)

本イベントは、軽食とネットワーキング機会で締めくくられます。

本イベントは参加無料で、以下のリンクから登録できます。

[Maritime Innovations Showcase at Poole Harbour? | Institution of Civil Engineers \(ICE\)](#)

Nigel Bodell
PIANC UK

PIANC 会長および PIANC PTG CC（気候変動に関する常設タスク・グループ）代表が ITF 2025 に出席

PIANC 会長のフランシスコ・エステバン・レフラー([Francisco Esteban Lefler](#)) PIANC 会長とローレ・ハーバート([Laure Herbert](#)) PIANC PTG CC 代表は、PIANC を代表して国際交通フォーラムサミット 2025 に参加しました。両氏は、道路 (PIARC)、鉄道 (UIC)、公共交通 (UITP) 及び国連欧州社会経済委員会 (UNECE) の同僚と共に、サイドイベント「我々の相互信頼・結びつき：パートナーシップ構築と交通システムの強靱化」に参加しました。



Lucie Anderton CEnv, Miguel Caso Flórez, Patrick Mallejacq, Arthur Cornier, Lukasz Wyrowsky に感謝します。

Francisco Esteban Lefler
President of PIANC

出版物

発刊中



[PIANC Yearbook 2024](#)
(2024 年 PIANC 年報)

近日発刊！

以下の出版物が 2025 年 6 月にリリースされます。

PIANC WG 219 (内陸水路委, InCom): 観光促進のための内陸水路インフラのガイドライン 'Guidelines for Inland Waterways Infrastructure to Facilitate Tourism'

[ここをクリックして、最新の出版物をご覧ください！](#)

PIANC 会員になって節約しましょう。
PIANC の出版物がすべて無料でダウンロード出来ます！

WG メンバーの新規募集

PIANC MarCom（海港委員会）では、以下の WG メンバーを募集中です



新 WG 設置 MarCom WG269：洋上風力発電・基地港湾の設計ガイドライン
メンバー募集締切：2025 年 6 月 15 日

ご関心ある方は、申込みを各国部会に提出して下さい。各国部会がない場合はこちら
info@pianc.org

プラチナ会員からのニュース

シバタフェンダーチーム(SFT: SHIBATAFENDERTEAM)からのニュース

シバタフェンダーチーム(SFT) PIANC の世界各地の技術的な対話の推進を継続

ニュースレター（Sailing Ahead）前号で取り上げた内容の続きとして、5 月 8 日に Dominique Polte 氏(WG 211 の主要な貢献者)を講演者として、SFT は成功裡に開催された海洋防舷材に関する#FiresideChat に参加しました。このイベントは CoCom（国際協力委員会）と PIANC 南アフリカ部会が主催し、新たな PIANC 防舷材ガイドラインに焦点を当てた内容となりました。Dominique 氏のプレゼンテーションは、ガイドライン 2024 の重要な更新点として、「防舷材システム設計と選定の包括的アプローチ」の適用が強調されました。同氏は、第 5 章と第 6 章に焦点を当て、接岸エネルギーと防舷材システムの選定について詳しく説明しました。

月の後半には、SFT は 5 月 15 日から 16 日にかけてメキシコ・ベラクルスで開催された AMIP 会議に出席する機会を得ました。SFT の Luis Moreno Lopez 氏(Junior Sales Engineer)が、本イベントに当社を代表して参加しました。会議では、AMIP が PIANC に正式に加わることが発表され、地域と国際的な協力関係において重要な一歩が踏み出されました。AMIP 会議を成功裡に導いた主催者各位に心より感謝申し上げます。今後も拡大する PIANC コミュニティにおいて有意義な対話と協力を継続していくことを楽しみにしています。

さらに5月6日にはPIANC年報の発刊を記念した式典を開催しました。スポンサーとして過去12ヶ月間の成果を振り返り、今後の展望に胸を膨らませていることを大変嬉しく思います。最後にPIANCの140周年を記念する節目は、今後多くの年月にわたり祝われるに値するものです！

Cristina Verde
Senior Marketing Manager SFT Spain

以下はPIANCのプラチナパートナーです。



ソーシャルメディアでPIANCをフォローしてください！



PIANC @ <https://www.pianc.org/> にアクセス

<https://www.pianc.org/join-pianc/> でPIANC会員になる